

仙台市水道局郵便入札実施要領

(平成 15 年 10 月 31 日管理者決裁)

(趣旨)

第 1 条 この要領は、仙台市水道局契約規程（昭和 39 年仙台市水道局規程第 17 号。以下「規程」という。）第 6 条第 3 項の規定に基づき、本局の郵便による入札（以下「郵便入札」という。）の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

(対象契約)

第 2 条 郵便入札の対象契約は、次のとおりとする。

- (1) 仙台市水道局制限付き一般競争入札実施要綱（平成 8 年 3 月 29 日管理者決裁。以下「要綱」という。）第 2 条に規定する制限付き一般競争入札の対象となる工事に係る請負契約
- (2) 工事に係る業務委託契約における競争入札実施要綱（平成 30 年 9 月 27 日管理者決裁）第 3 条に規定する委託契約
- (3) 清掃警備業務の委託契約に係る一般競争入札実施要綱（平成 30 年 9 月 27 日管理者決裁）第 2 条に規定する委託契約
- (4) 仙台市水道局契約事務に関する審査委員会規程（平成 10 年仙台市水道局規程第 15 号。以下「審査委員会規程」という。）第 2 条第 12 号の規定により、指名競争入札に付する契約のうち書留郵便による入札を行うものとして選定された契約

(公告等)

第 3 条 管理者は、郵便入札を行う場合は、規程第 5 条に規定する公告又は地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 12 第 2 項に規定する指名競争入札の指名に係る通知（以下「公告等」という。）において、次の各号に掲げる事項も併せて公告等を行うものとする。

- (1) 入札書の郵送方法
- (2) 入札書の到達期限
- (3) 入札書の送付先
- (4) 入札回数
- (5) 要綱第 7 条に規定する入札執行の日時及び場所に代えて開札の日時及び場所（電子入札案件にあつては、入札期間並びに開札の日時及び場所）
- (6) 郵便による入札の条件に反した入札書を無効とする旨
- (7) 添付書類
- (8) その他必要と認める事項

2 前項の規定にかかわらず、前条第 4 号に規定する契約については、地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 12 第 2 項の規定による通知において、前条各号に掲げる事項を通知するものとする。

(入札回数)

第 4 条 郵便入札に付した場合の入札回数は、初度のみの 1 回とする。

(入札書等の郵送方法)

第 5 条 郵便入札の入札参加者は、入札参加申請書、入札書その他公告等において指定する添付書類を指定した書留郵便で入札書の到達期限までに到達するよう郵送しなければならない。

2 前項の規定による郵送には二重封筒を用いることとし、入札書を一の中封筒に、公告等において指定する添付書類を一の中封筒に入れ封印し、それぞれの中封筒に入札参加者名、入札件名及び封入した書類名を記載した上で郵送用の外封筒に入札参加申請書と同封し、郵送しなければならない。

3 前項に規定する郵送用の外封筒は、宛名を「仙台市水道局財務課契約係」とし、入札参加者名、入札件名及び封入した書類名を記載しなければならない。

4 入札保証金を必要とする場合は、入札保証金を納付したことを確認できる書類を第 2 項に規定する郵送用の外封筒に同封しなければならない。

(入札書の保管等)

第6条 管理者は、前条の規定による郵便物が到達したときは、開札日時まで財務課において厳重に保管するものとする。

2 前項の郵便物は、差替えをすることができない。

(無効の入札)

第7条 次の各号のいずれかに該当する入札は、無効とする。

(1) 入札に参加する資格のない者がした入札

(2) 入札保証金を必要とする場合、第5条第4項に規定する書類の同封がされていない入札

(3) 一の入札について同一の入札参加者が2通以上の入札書を提出した入札

(4) 入札者の記名押印がない入札

(5) 入札金額を訂正している入札

(6) 入札金額その他重要事項の記載が不明確な入札

(7) 財務課への直接の持参、公告等において指定する添付書類が未同封など、第5条に規定する郵送方法によらない入札

(8) 公告等で示した入札書の到達期限を過ぎて到達した入札（第10条の規定により、入札を延期した場合を除く。）

(9) 明らかに不正によると認められる入札

(10) その他入札に関する条件に違反してなされた入札

(開札の立会)

第8条 入札者又はその代理人は、開札時に立ち会うことができる。

2 管理者は、入札書等の確認のため、開札時に立ち会った者の中から、2人の開札立会人を選任するものとする。

3 開札に立ち会う入札者若しくはその代理人がいない場合又は開札立会人の数が2人に達しない場合は、当該入札事務に関係のない職員1名が立ち会うこととする。

(開札)

第9条 開札は、公告等に記載した開札日時に行うものとする。

2 開札の結果、落札となるべき同価格の入札をした者が2人以上あるときは、落札決定を保留した上で、あらためて当該入札参加者に出席を求め、くじを引かせて落札者又は落札候補者を定めるものとする。ただし、当該入札参加者全員が、立会人に選任され、現に立会を行っている入札参加者である場合は、その場で、当該立会人がくじを引くこととする。

3 総合評価一般競争入札において、落札候補者となるべき同じ評価値の者が2人以上あるときの落札候補者の決定については、前項の規定を準用する。

4 前2項の場合において、当該入札参加者のうちくじを引かないものがあるときは、これに代えて、当該入札事務に関係のない職員にくじを引かせるものとする。

(入札の延期、中止、取消し)

第10条 管理者は、郵便入札において、郵便事情等により事故が発生した場合又は不正な行為等により、必要があると認めるときは入札の延期若しくは中止又は入札の取消しをすることができる。

(入札結果の通知)

第11条 管理者は、郵便入札により落札者を決定した場合は、速やかに当該落札者に連絡するとともに入札結果を財務課において閲覧に供するものとする。

(その他)

第12条 この要領に定めるもののほか、この要領の実施に関し必要な事項は、財務課長が別に定める。

附 則

(実施期日)

1 この要領は平成15年11月4日から実施する。

(経過措置)

2 この要領の規定は、この要領の実施の日以後に発注手続に着手する契約について適用し、同日前に発注手続に着手したものについては、なお従前の例による。

附 則（平成19年7月30日改正）

（実施期日）

1 この改正は平成19年7月30日から実施する。

（経過措置）

2 この改正は、平成19年7月30日以後に発注手続に着手する契約について適用し、同日前に発注手続に着手したものについては、なお従前の例による。

附 則（平成20年1月29日改正）

（実施期日）

1 この改正は平成20年1月29日から実施する。

（経過措置）

2 この改正は、平成20年1月29日以後に発注手続に着手する契約について適用し、同日前に発注手続に着手したものについては、なお従前の例による。

附 則（平成20年10月31日改正）

（実施期日）

1 この改正は平成20年11月1日から実施する。

（経過措置）

2 この改正は、平成20年11月1日以後に発注手続に着手する契約について適用し、同日前に発注手続に着手したものについては、なお従前の例による。

附 則（平成29年3月29日改正）

（実施期日）

1 この改正は平成29年4月1日から実施する。

附 則（平成31年4月24日改正）

（実施期日）

1 この改正は、令和元年5月1日から実施する。

（経過措置）

2 改正後の仙台市水道局郵便入札実施要領の規定は、この改正の実施の日以後に仙台市水道局契約規程第5条の規定による一般競争入札に係る公告について適用し、同日前に公告が行われた契約については、なお従前の例による。

附 則（令和2年3月30日改正）

（実施期日）

1 この改正は、令和2年4月1日から実施する。

（経過措置）

2 改正後の仙台市水道局郵便入札実施要領の規定は、この改正の実施の日以後に仙台市水道局契約規程第5条の規定による一般競争入札に係る公告が行われる契約について適用し、同日前に公告が行われた契約については、なお従前の例による。

附 則（令和2年4月24日改正）

（実施期日）

1 この改正は、令和2年5月1日から実施する。

（経過措置）

2 改正後の仙台市水道局郵便入札実施要領の規定は、この改正の実施の日以後に仙台市水道局契約規程第5条の規定による一般競争入札に係る公告又は同規程第11条の規定による指名競争入札に係る指名の通知が行われる契約について適用し、同日前に公告又は指名が行われた契約については、なお従前の例による。